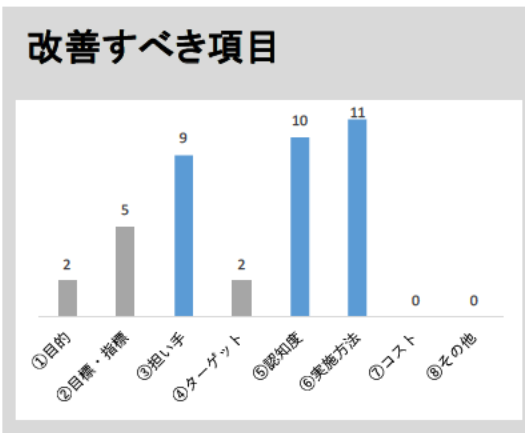


事業の名称	環境衛生事業		
部署	環境資源部	課名	環境保全課
事業の目指すべき姿	市民一人一人の環境美化意識と喫煙マナーの向上により、ごみの散乱等が無いような、きれいなまちを目指す。		

総合評価	改善すべき
評価結果	

各評価人の評価	
よく取り組んでいる	0人
改善すべき	7人
大いに改善すべき	4人
廃止すべき	0人



評価人の意見

(1) 実施方法
市民への意識調査を実施するなど、ごみのポイ捨てなどの原因を分析して、店舗などとの連携を踏まえた仕組みづくりを行ってほしい。

- ・店舗などとの連携も視野に入れ、ごみ箱の設置及びごみ捨てのマナーが守られる仕組みを検討する必要がある。
- ・ごみを出さない、ポイ捨てしないような市民の意識を高める仕組みやルール作り等をする必要がある。
- ・ごみが増えた原因分析をし、それに応じた対策をとる必要がある。
- ・小田急町田駅東口広場内の喫煙所がなくなることにより、他の喫煙所に喫煙者があふれることや、路上喫煙禁止の指導件数が増加することなどが予想される。それらへの対策を強化する必要がある。

(2) 認知度
市が行う取組みの認知度を向上させるだけでなく、「町田の顔である町田駅周辺をきれいにしよう。そのためにごみは原則持ち帰ろう。」というような共通意識を市民に持ってもらうことが重要である。

- ・美化推進重点区域や指定喫煙所の認知度を高める必要がある。
- ・周知には、区域や場所を設定した目的を伝える必要がある。
- ・市民が、これまでよりさらにごみ捨てのマナーを守るよう、周知方法や頻度を見直す必要がある。
- ・周知は、市外の人にもわかる仕組みで実施する必要がある。

(3) 担い手
市がかけられるコストと人員には限りがある。行政と市民や民間事業者が相互理解をしながら取組みを進めてほしい。

- ・コストと人員には限りがあるため、行政で全てを実施するのではなく、行政・市民・民間事業者が協力し合う必要がある。

改善の基本的な考え方

(1) 実施方法
ポイ捨てされたごみの種別や回収量を調査するなどして、ごみのポイ捨てがない環境づくりに取り組む。

喫煙者、非喫煙者ともに、心地よく過ごせるような環境づくりに取り組む。

(2) 認知度
美化推進重点区域及び指定喫煙所の認知度向上のため、周知内容、方法、頻度を工夫する。

(3) 担い手
市民や民間事業者が担える部分について、連携してごみのポイ捨て防止に取り組む施策を研究する。

事業所管課の改善に向けた具体的な取組

(1) 実施方法

- ①ごみのポイ捨てに対する問題意識と、「ごみは持ち帰る」という意識の向上のため、市ホームページにて、美化推進重点区域内のポイ捨てごみの量や写真を公表する。
- ②環境に関する情報発信を行っている『ハスのん』インスタグラム及びツイッターといったSNSを活用して、幅広い世代に向けて、啓発活動の様子を発信したり、マナー向上を呼びかける。
- ③町田駅周辺の美化推進重点区域内で回収されるポイ捨てごみの増加要因を研究する。
- ④都や他自治体の取組みを注視しながら、指定喫煙所を利用しやすくなるような仕組みを研究する。

(2) 認知度

- ①『ハスのん』インスタグラム及びツイッターを活用して、美化推進重点区域や指定喫煙所について、幅広い世代に向けた情報発信を行う。
- ②市が発行する観光マップや地図など、観光客や市民の多くの方が目にする機会がある媒体に、美化推進重点区域や指定喫煙所の掲載が可能か検討する。
- ③美化推進重点区域や道路等喫煙禁止区域、指定喫煙所の認知度を高めるために、わかりやすい新たな標示方法を検討する。
- ④効果的に啓発ができるよう、美化推進重点区域内の指導回数の多い場所で、重点的に啓発活動を行う。

(3) 担い手

- ①市が行っている「ポイ捨て・路上喫煙禁止マナーアップキャンペーン」などのごみのポイ捨て防止啓発活動に高校生も参加できる仕組みを検討する。
- ②飲食物の空き容器を、販売した店舗で対応してもらえるよう、市ホームページで協力を呼びかける。

目標

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①ホームページでの公表	①ー (2020年3月)	①公表 (2020年5月)
②SNSの発信回数 (年間)	②ー (2020年3月)	②4回 (2021年3月)
③ポイ捨てごみの増加要因の分析	③ー (2020年3月)	③研究成果まとめ (2021年3月)
④仕組みの研究	④ー (2020年3月)	④研究成果まとめ (2022年3月)

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①SNSの発信回数 (年間)	①ー (2020年3月)	①4回 (2021年3月)
②掲載方法の検討	②ー (2020年3月)	②検討完了 (2021年3月)
③新たな標示方法の検討	③ー (2020年3月)	③検討完了 (2021年3月)
④啓発場所を工夫した啓発活動数 (年間)	④ー (2020年3月)	④3回 (2021年3月)

指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)
①仕組みの検討	①ー (2020年3月)	①検討完了 (2021年3月)
②店舗への協力呼びかけ	②ー (2020年3月)	②実施 (2020年5月)

結果(概要)

実績値 (時点)	取組内容
①公表 (2020年5月) 【改善済】	①市ホームページで、町田駅周辺で回収したポイ捨てごみの量を公表
②4回 (2021年3月) 【改善済】	②『ハスのん』インスタグラム等でマナー向上を呼びかけ
③研究成果まとめ (2021年3月) 【改善済】	③回収されたポイ捨てごみの量を研究した結果、たばこの吸い殻が増加傾向
④研究成果まとめ (2022年3月) 【改善済】	④調査・研究を踏まえ、汚れのひどかった5か所の指定喫煙所について大規模な清掃を実施

実績値 (時点)	取組内容
①4回 (2021年3月) 【改善済】	①『ハスのん』インスタグラム等で美化推進重点区域等を周知
②検討完了、掲載実施 (2021年2月) 【改善済】	②東日本タクシーが提供する車内広告『町トレ』で、美化推進重点区域等の掲載を開始
③検討完了 (2021年3月) 【改善済】	③指定喫煙所の利用者以外にも周知を図る方法を検討
④0回、重点的な指導の実施 (2021年3月) 【改善済】	④美化推進重点区域内の指導件数が多い場所等で、重点的に見回り、声かけ

実績値 (時点)	取組内容
①検討完了 (2021年3月) 【改善済】	①自主的な取組を紹介するなど、啓発活動を身近に感じてもらう仕組みを検討
②実施 (2020年5月) 【改善済】	②市ホームページで、販売した店舗で空き容器を対応してもらえるよう協力を呼びかけ

事業の名称	環境衛生事業		
部名	環境資源部	課名	環境保全課

項目	結果(詳細)			
	2020年度		2021年度	

①実施方法	実績値 (時点)	取組内容	実績値 (時点)	取組内容
	①公表 (2020年5月) 【改善済】	①ごみのポイ捨てに対する問題意識と、「ごみは持ち帰る」という意識の向上のため、市ホームページにて、美化推進重点区域で最もごみの量が多い町田駅周辺で2019年度に回収したポイ捨てごみの量を公表した。	①公表 (2020年5月) 【改善済】	①2020年度で改善済
	②4回 (2021年3月) 【改善済】	②2020年11月に「ごみを家に持ち帰る等の適切な処理のお願い」について、2021年3月に「指定喫煙所の適切な利用のお願い」について、『ハスのん』インスタグラム及びツイッターで計4回発信した。	②4回 (2021年3月) 【改善済】	②2020年度で改善済
	③研究成果まとめ (2021年3月) 【改善済】	③町田駅周辺の美化推進重点区域内で2019年度と2020年度に回収されたポイ捨てごみの量を種別ごとに研究したところ、たばこの吸い殻が増加傾向であった。これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言期間中の一時的な指定喫煙所の閉鎖や区域内の清掃中止等による要因もあったものの、2020年4月からの東京都受動喫煙防止条例の施行に伴う、屋外の喫煙者の増加によるものと考えられる。今後、指定喫煙所利用の周知を重点的に進めていく。	③研究成果まとめ (2021年3月) 【改善済】	③2020年度で改善済
	④研究中 (2021年3月) 【改善進行中】	④他自治体に取り組んでいる指定喫煙所を利用しやすくなる取組を調査し、町田市において活用できそうな取組がないか研究を進めている。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、指定喫煙所内での社会的距離の確保を推進するため、トリックアートを活用した路面標示等といった、指定喫煙所を利用しやすくなるような新しい取組が進められている。こうした研究を引き続き進めていく。	④研究成果まとめ (2022年3月) 【改善済】	④ ・他自治体に取り組んでいる指定喫煙所を利用しやすくなる取組や市民の要望を調査・研究した。その結果、喫煙所の中の様子を見やすく、また光の入る明るい喫煙所とすることで、喫煙者が指定喫煙所を利用しやすい環境に整備するため、汚れのひどかった5か所の指定喫煙所について大規模な清掃を実施した。 ・また、喫煙者だけでなく、非喫煙者にとっても喫煙所の利用価値を高めるための取組として、地元の町内会・自治会の連絡事項や学生が描いた絵等を、喫煙所のパーテーションに掲示する取組を実施することとした。今後、2022年4月から美化推進重点区域及び道路等喫煙禁止区域に指定する多摩境駅周辺において、実証実験を進めていく。

②認知度	実績値 (時点)	取組内容	実績値 (時点)	取組内容
	①4回 (2021年3月) 【改善済】	①2020年7月に美化推進重点区域について、2021年1月に指定喫煙所について、『ハスのん』インスタグラム及びツイッターで計4回発信した。	①4回 (2021年3月) 【改善済】	①2020年度で改善済
	②検討完了、掲載実施 (2021年2月) 【改善済】	②タクシーは、観光客や市民の多くの方、幅広い年齢層の方が利用するため、タクシーの車載広告は多くの方が目にする機会がある媒体であると考えた。東日本タクシーが提供する『町トレ』※に、町田市の市政情報の一つとして、美化推進重点区域や道路等喫煙禁止区域、指定喫煙所を紹介する広告を、2021年2月に掲載開始した。 ※町トレ：町田市の飲食店や生活情報を発信する東日本タクシーの情報サービス。タクシーの後部座席に向けた「タクシービジョン」と、「スマホ版Webサイト」に掲載される。	②検討完了、掲載実施 (2021年2月) 【改善済】	②2020年度で改善済
	③検討完了 (2021年3月) 【改善済】	③美化推進重点区域図及び道路等喫煙禁止区域図については、指定喫煙所の灰皿に掲示しているが、指定喫煙所の利用者以外にも周知を図る方法を検討した。通行人にも目につきやすい、指定喫煙所の出入口付近にポスターを掲示することで、区域の認知度の向上を図ることとした。ポスターの掲示は、2021年4月末までに行う予定である。	③検討完了 (2021年3月) 【改善済】	③2020年度で改善済
	④0回、重点的な指導の実施 (2021年3月) 【改善済】	④新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、啓発活動の実施は見送ることとした。しかし、美化推進重点区域内の指導件数が多い場所や市民の方から要望のあった場所を、巡回員が一定期間重点的に見回り、声かけを行う代替手段を実施した。	④0回、重点的な指導の実施 (2021年3月) 【改善済】	④2020年度で改善済

事業の名称	環境衛生事業		
部名	環境資源部	課名	環境保全課

項目 結果(詳細)

2020年度 2021年度

実績値 (時点)	取組内容	実績値 (時点)	取組内容
①検討完了 (2021年3月) 【改善済】 ②実施 (2020年5月) 【改善済】	①高校生もごみのポイ捨て防止啓発活動に参加できる仕組みを検討した結果、まずは、市民の方々の自主的な取組を紹介することで、啓発活動を身近に感じてもらう必要があると考えた。毎年5月30日の『ごみゼロデー』にちなんで、ポイ捨てごみを清掃する美化キャンペーンの期間中に、市民の方々がグループになって参加いただいた取組を、市ホームページや『ハスのん』Instagram等により紹介するといった案を検討した。今後は、効果的で実行可能な仕組みを構築していく。 ②市ホームページにて、美化推進重点区域内のポイ捨てごみの量の公表に併せて、販売した飲食物の空き容器が店舗周辺でポイ捨てされることがないように、販売した店舗で空き容器を対応いただく等、まちの美化への協力を呼びかけた。また、飲食が終わるなどして不要になった空き容器等は、家に持ち帰るなど適切な処理の協力も併せて呼びかけた。	①検討完了 (2021年3月) 【改善済】 ②実施 (2020年5月) 【改善済】	①2020年度で改善済 ②2020年度で改善済

③担い手